

## 再評価結果(平成 17 年度継続予定箇所)

担当課: 中部地方整備局建政部都市整備課

担当課長名: 筒井裕治

事業名	都市計画道路朝日線整備事業	事業区分	市道	事業主体	菊川市
起終点	静岡県菊川市 本所・柳 地内			延長	0.32 km
事業概要					
<p>現在JR東海道本線により分断されている駅北側地区と、駅南側地区を都市計画道路菊川駅前通り線～市道柳坪線の約320m区間を結ぶ幹線道路であり、地区の分断解消と、朝日線東400mの位置にあるJR踏切の渋滞を解消し、地域の活性化を図ることを目的としている。</p>					
H 7 年度事業化	S 43 年度都市計画決定 ( H 3 年度変更)	H 7 年度用地着手	H 17 年度工事着手 (アンダーパス本体工事)		
全体事業費	約 2,656.11 億円	事業進捗率	21.9 %	供用済み延長	0 km
計画交通量	16,000台/日				
費用便益比	B/C	総費用	総便益	基準年	
	1.37	2,541.5 百万円 ( 事業費 : 2,539.0 百万円 維持管理費 : 2.5 百万円 )	3,481.70 百万円 ( 走行時間短縮便益 : 3,366.80 百万円 総工費用減少便益 : 93.70 百万円 交通事故減少便益 : 21.20 百万円 )	平成 15 年	
事業の効果					
<p>昭和43年度都市計画決定され、平成7年度より用地買収に着手し、関連工事も実施されている。総合計画基本構想にも取り上げられている「都市と田園の調和した土地利用」という観点からも、その要となる南北市街地を結ぶ街路朝日線JRアンダーパスの実現は、市民の永年の願いと期待が込められている事業である。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>菊川駅北口周辺エリア基本構想により、駅北側の整備が急務となっている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<p>平成15年度末現在</p> <p>・事業進捗率21.9%・用地取得率84.5%(残未取得地は、菊川市土地開発公社よりの買い戻し分及びJR東海所有地)。JRとの協議及び協議締結が挙げられ、この進捗が工事スケジュール等に影響することが考えられますが、現時点においては、比較的スムーズに協議は進められている。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<p>JRアンダーパス部分を中心とした協議・調整を推進するなど、既に着手済みの工事箇所についても、円滑な実施を行い、平成20年度の工事完了、平成21年度の供用開始を目指している。</p>					
施工の構造や工法の変更等					
<p>現在進行中のJR協議において、既設計に対する新工法やライフサイクルコストの縮減などのJR側からのVE提案などから、総合的に工事費の縮減が見込めるものと考えます。</p>					
対応方針	事業継続				
事業概要図					